

# おくらんど

JA全農えひめ情報

2018  
10 - Nov.  
Oct. 11

■特集

平成30年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝計画





▲「伊予美人」を手にする神野副知事（右から3人目）と関係者ら



▲ビアガーデンでの試食宣伝の様子

## さといも「伊予美人」 愛媛県副知事を表敬訪問

愛媛県のオリジナル品種、さといも「伊予美人」の今年産の収穫スタートにあたり、8月31日、JA全農えひめの関岡光昭副本部長、JAうまの篠原一志代表理事組合長、JA愛媛野菜生産者組織協議会の宝利義博会長らが、愛媛県の神野一仁副知事を表敬訪問。生産概況や販売計画などを報告しました。

「伊予美人」を使った芋炊きを試食した神野副知事は、「甘みもあり、粘り気が強くておいしい。愛媛の代表ブランドとしてしっかりとPRして欲しい」と話しました。

愛媛県はさといも生産量が全国第4位（平成29年産）。今年産の栽培面積は7JAで栽培面積147.1ha（前年比111%）、出荷量は3,575t（前年比119%）を見込んでいます。JA全農えひめは、品質の統一を図りながら県内JAとともに店頭試食宣伝活動や各種イベントを通じて、「伊予美人」のブランド浸透に取り組んでいます。平成31年春には、単位JAの枠を超えた「愛媛さといも広域選果場」を四国中央市に新設予定です。

同日、JA全農えひめとJAうまの関係者は、松山市のリジエール松山屋上ビアガーデンにおいて、来場者に「伊予美人」20kgを使った芋炊きを振る舞い、PRを行いました。

# めぐり〜ど

2018年10-11月号

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



日中は農作業に家事、勉強に、皆さんそれぞれご苦労様。夕暮れに涼しい河原で、みんなでわいわい、いもたき会です。ぐつぐつ煮える湯気の間から里芋、鶏肉、ネギに椎茸、コンニャク、じゃこ天。おいしいよ〜と自己主張。まんまるお月様も上からのぞき見しています。楽しい一夜を過ごしたら、さあ、また明日から頑張ろう！

●表紙：いもたき  
はら ふみ(イラストレーター)

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつににする (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.206

## さといも「伊予美人」 愛媛県副知事を表敬訪問

2

〈特集〉

平成30年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝計画

**高品質果実の計画出荷、  
需給調整対策、効果的な  
消費宣伝活動を展開します。**

6

J A全農えひめグループ7社 平成30年度役員体制

7

統計BOX

8

THE・ねっとわーく

10

トピックス

「2018愛媛みかん大使」4人を任命！

12

ふるさと ESSAY VOL.274

## 加工食品の可能性

泉谷 昇さん

14

協同の力で乗り越えよう 平成30年7月豪雨

16

TOPIC NEWS

20

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉豚ロース肉(ふれ愛・媛ポーク)

### JA全農えひめ

ホームページ  
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



- JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimemosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆備えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス㈱  
<http://www.iyokkora.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ㈱  
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆備ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー㈱  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆JAえひめ物流㈱  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

# 特集

## 高品質果実の計画出荷、 需給調整対策、効果的な 消費宣伝活動を展開します。

平成30年産温州みかんの生産予想量は、日園連の9月1日時点の主産県調査によると全国で74万6千トン程度（前年比112%、28年比100%）、愛媛県は11万9千トン（前年比99%、28年比93%）で、適正生産量（全国84万トン、愛媛13万1、380トン）を既に下回っています。西日本豪雨災害によりさらに減少する見込みです。今後は豪雨災害からの復旧、樹勢の維持・回復および、隔年結果の是正にむけた適正着果対策を徹底し、高品質果実生産対

策に取り組むことが重要です。

本年産露地みかんの品種別の全国生産予想量は、日園連調査（9月1日時点）によると、極早生11万4千トン（前年比97%）、早生29万6千トン（前年比111%）、普通31万8千トン（前年比120%）となっています。本年の露地みかんは裏年廻りでありながら、全国的に着花量は多く、生理落果においても一次落果は並からやや多めでしたが二次落果は少なかつたため、昨年比べて生産量は多くなる見込みでした。しかし、7

月の豪雨被害により、当初の見込みよりも減少するものと考えられ、状況の把握に向けた調査が続けられています。

極早生の生産量は、前年よりやや少ない予想となっており、早生みかん以降の販売を有利に展開するためにも、栽培管理の徹底による高品質果実の生産に力を注ぐことが重要です。また、全果協かんきつ部会で協議決定し、3か年で実施してきた極早生みかんの結果樹面積削減対策は、目標の10%を大きく超える17・3%の削減となりました。現在、全果協は新たな3か年計画を検討中です。

早生以降については、生産量は前年を上回る状況となっていますが、豪雨被害による数量減の影響により変動すると考えられます。市場出荷量についても、まずは被害状況を把握し正確な出荷計画の策定を行い、消費動向を注視しながら、市場別の販売動向を把握した出荷に努めるとともに、気象災害等により数量が減少する場合は迅速に産地情報を発信しなければなりません。

また、11月下旬の恒常的な売り悩みとともに、12月中旬以降の供給過剰による荷動きの停滞・価格低迷を回避するためにも、平成30年産露地みかんの出荷販売にあたっては、高品質果実の出荷を基本に出荷時の品質基準の遵守や計画出荷に努めるとともに、市場価格の維持を目的とした果実需給調整対策事業及び一般消費者を対象とした消費宣伝事業を有効活用し、次年度につながる販売対策を実施します。



## 販売方針

### 〔品種別対策〕

#### ●極早生みかん

極早生みかんの販売は10月末終了を徹底します。ただし、やむを得ず11月に出荷するものについては、確実に糖度11度以上の品質が確保できるものに限定し早期に出荷を切り上げます。低品位果実の市場出荷の自粛、県域の価格維持対策として下等級品の市場隔離を

図るため加工誘導対策事業（※）を実施・有効活用します。

（※11月10日までに1,000トンを対象として実施する）

#### ●早生みかん

早生の販売開始にあたっては、市場残荷量等の販売状況や品質状況を勘案したなかで開始します。11月下旬の恒常的な売り悩みを回避するため、市場別の販売状況を勘案し販売先の需要に応じた出荷に努めるとともに、スムーズな品種の切り替えを図ります。また、日量出荷量の平準化を図り、祝日および休市明けと11月1日、11月22日、11月29日は平常時の20%増以内に抑えます。

県域の価格維持対策として下等級品の市場隔離を図るため加工誘導対策事業（※）を実施・有効活用します。

（※1月31日までに4,000トンを対象に実施）

#### ●普通温州みかん

12月中旬以降の需要の落ち込みに対応すべく、自主調整を含めた

機動力のある出荷計画を実施します。販売店では年末年始無休営業が常態化し、消費の平準化が進んでいることから需要量に応じた出荷を実施するとともに、年内に無理した出荷を行わずに年明け販売も視野に入れた出荷計画を策定します。また、年明け販売分は、品質低下のないように貯蔵管理の徹底を図ります。

1月末まで果実需給調整対策事業を継続します。

### 〔各品種共通対策〕

精度の高い出荷計画の策定と遵守に努め、産地状況の迅速な情報発信を行います。また、品質・階級基準を厳守するとともに、低品位果実は加工仕向け等の市場隔離を行います。

品種・系統の品質特性を踏まえた適期出荷を徹底します。早生の販売開始は、基本的に11月からとし、極早生から早生への切り替えを明確にします。

11月～12月10日における水曜日の販売分は出荷停止とします。

★対象日…11月7日（休市）・14

日（休市）・21日・28日、12月5日（休市）の合計5回

全果協10地域市場出荷計画の旬別前年比を指標として出荷計画を樹立するとともに、選果場ごとの出荷状況を的確に把握し、市場出荷残量を踏まえた計画的な出荷を行います。また、生産指導部署との連携を密にし、選果・選別・出荷予措の徹底と10地域市場出荷計画を基準として、市場ごとに残荷量・未仕切等の販売状況を加味した出荷量を調整します。

需給調整に基づいた適正出荷量と特別出荷調整の対象期間（11月中下旬）におけるJA別出荷量を遵守するとともに、長期取引契約数量を必達します。

緊急需給調整特別対策事業が発動された場合は、事業実施方針に基づき価格下落の主因となる恐れのある果実を加工原料に仕向けます。



【品質基準】

出荷時期	糖 度	酸 度
9月	9.0度以上	1.0%以下
10月	10.0度以上	1.0%以下
11月以降	11.0度以上	0.9%以下

※市場到着時目標とし、全国連の品質基準に準ずる

消費宣伝計画

愛媛県産柑橘の販促および知識に習熟したSPレディによる販促活動を行い、さらなる愛媛みかんファンの獲得に努めます。販売力の高い店舗の設定や販売時期に強弱をつけるなど、販促のあり方について十分に精査して実施します。また、店頭販促を行うSPレディの研修会を実施することで、愛媛県産柑橘に対する知識をさらに深め、消費者の五感を通じて愛媛みかんの魅力を訴え、消費拡大を図ります。

愛媛みかん大使による消費宣伝・みかんキャンペーンについては、事業の内容を十分精査したうえで、効果的な活動を計画・実施し、愛媛みかんのPR・知名度向上を図ります。



●全国果実生産出荷安定協議会

国産果実に対する消費者ニーズが高品質・少量多品目化するなか、「食生活指針」や「食事バランスガイド」に基づいた「日本型食生活」を推進し、果実摂取の重要性を訴求するため「毎日くだもの200グラム運動」の普及啓発活動の実践、安全・安心な国産果実全体のイメージアップや話題性の醸成・提供、果物の持つ栄養・効能・機能性の周知および全国の果

●えひめ愛フード推進機構

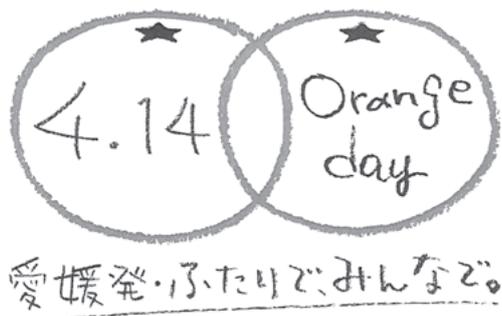
消費者に「オレンジデー」、「オレンジロード」の認知度向上を図るとともに、愛媛県産柑橘全体のPR及び消費拡大を図るため、効果的なイベントを計画・実施します。

樹産地と一体となった取り組みを行い、国産果実全体の需要拡大を図ります。また、全国段階・県段階・農協段階の役割分担を明確化し、全国の果樹産地が協調した事業展開を図り、より効率的・効果的な取り組み内容とします。

【緊急時の対策】

「緊急需給調整特別対策事業」が発動された場合は全果協および県果協の実施方針に基づき実施します。市場価格の急落が懸念され、かつ市場在庫が増加傾向にある場合は、果実販売部会・販売情勢検討会等で協議し、緊急対策を実施します。

出荷階級は2L〜S級とします。



4月14日は愛媛産の「オレンジデー」です。

JA全農えひめ



▲愛媛県産青果物の売り場を確保し、シーズンを通じて効果的な販促を実施

●店頭試食宣伝  
愛媛みかんの売り場確保・販売数量・売り上げアップを図るため、店舗の状況にあった販促を実施し、より多くの消費者に愛媛みかんのPRを行います。また、シーズンを通じて愛媛県産青果物の売り場を確保していただける「愛媛協力店」を設定し、愛媛県産青果物の情報発信と消費拡大を図ります。



▲首都圏でのサンプリング・販促のほか、イベント等に参加し、愛媛みかんのシーズン到来をアピール

●愛媛みかん大使による消費宣伝  
今年で60代目となる愛媛みかん（いよかん）大使を任命し、県内外でのキャンペーン等を通じて、愛媛県産柑橘類の消費拡大に向けたPRを実施します。また、みかんキャンペーンでは、東京・大阪等の大都市に大使を派遣し、各種イベントへの参加、マスメディア等を巡回訪問し、愛媛みかんの季節到来・キャンペーンの実施を周知するとともに、イベントの記事掲載等を通じた消費宣伝の相乗効果を図ります。



▲SPレディ温州みかん研修会（100人研修会）

●SPレディ組織強化事業  
愛媛県産柑橘のより効果的な店頭試食宣伝販売を行うために、SPレディの組織強化を行います。温州みかん研修会（100人研修会）では、平成30年産柑橘類の生育状況・作柄等の説明会を実施し、産地状況等も把握してもらい産地と一体感を持って販売できる協力体制を強化します。



# JA全農えひめグループ7社 平成30年度役員体制

は30年度新任。

平成30年6月20日現在

(株)えひめ飲料		
役職名	氏名	
代表取締役社長	高原 茂	常勤
代表取締役専務	山本 卓治	常勤
常務取締役	川田 永治	常勤
取締役	中村 康史	常勤
取締役	道上 久司	常勤
取締役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取締役	西本 満俊	非常勤・JA全農えひめ運営委員会副会長 JAにしうわ
取締役	黒田 義人	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAえひめ南
取締役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
取締役	富永 浩司	非常勤・(株)えひめフーズ代表取締役社長
常勤監査役	石川 忠司	常勤
監査役	井手 洋行	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAおちいまばり
監査役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき

JAえひめアイパックス(株)		
役職名	氏名	
代表取締役社長	中原 一憲	常勤
常務取締役	森川 威久	常勤
常務取締役	中川 達也	常勤
取締役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取締役	井手 洋行	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAおちいまばり
取締役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき
取締役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
監査役	黒田 義人	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAえひめ南
監査役	達川 青児	非常勤・JA全農監査主任者

JAえひめフレッシュフーズ(株)		
役職名	氏名	
代表取締役社長	大津 満	常勤
常務取締役	宇都宮 誠	常勤
取締役	篠原 一志	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAうま
取締役	加藤 尚	非常勤 JA西条
取締役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
取締役	関岡 光昭	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監査役	中村 吉年	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAひがしうわ
監査役	達川 青児	非常勤・JA全農監査主任者

(株)ひめライス		
役職名	氏名	
代表取締役社長	松田 一人	常勤
常務取締役	武田 司	常勤
取締役	加藤 尚	非常勤 JA西条
取締役	戸田 耕二	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA周桑
取締役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取締役	中村 吉年	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAひがしうわ
取締役	竹村 靖	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監査役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき
監査役	高井 雄二	非常勤・JA全農監査主任者

JAえひめエネルギー(株)		
役職名	氏名	
代表取締役社長	峯本 耕典	常勤
常務取締役	宮田 研二	常勤
取締役	関岡 光昭	非常勤・JA全農えひめ副本部長
取締役	竹村 靖	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監査役	高井 雄二	非常勤・JA全農監査主任者

(株)えひめフーズ		
役職名	氏名	
代表取締役社長	富永 浩司	常勤
取締役管理部長	丸山 茂	常勤
取締役	西本 満俊	非常勤・JA全農えひめ運営委員会副会長 JAにしうわ
取締役	高原 茂	非常勤・(株)えひめ飲料代表取締役社長
取締役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
監査役	石川 忠司	非常勤・(株)えひめ飲料常勤監査役

JAえひめ物流(株)		
役職名	氏名	
代表取締役社長	清水 宇造	常勤
常務取締役	白石 啓司	常勤
取締役	篠原 一志	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAうま
取締役	井手 洋行	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAおちいまばり
取締役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取締役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき

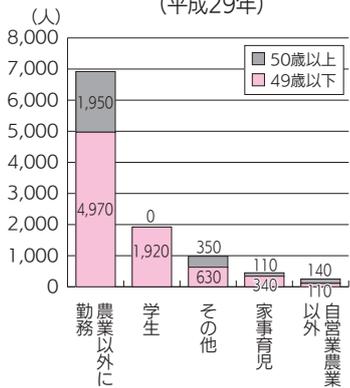
役職名	氏名	
取締役	西本 満俊	非常勤・JA全農えひめ運営委員会副会長 JAにしうわ
取締役	黒田 義人	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAえひめ南
取締役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
監査役	高原 茂	非常勤・(株)えひめ飲料代表取締役社長
監査役	達川 青児	非常勤・JA全農監査主任者

# 統計BOX

## 若年層の農業法人への就職が増加傾向

—平成29年新規就農者調査及び農林業センサス結果から—

図1 就農直前の就業状態別雇用者数 (平成29年)



出典：平成29年新規就農者調査

平成29年に農業経営体に新規に雇用された者は1万5,200人となっています。新規雇用就農者の雇用される直前の状態を見ると、農業以外に

### 農業法人等での雇用が職業の選択肢に

新規雇用就農者の増加は、農業経営体の大規模化や集落営農、法人経営の増加などが背景にあると考えられます。また、国の政策である「農業の雇用事業」（農業法人等が就農希望者を新たに雇用して実施する研修等に対して支援）も後押ししていると考えられます。今回は雇用就農者のうち、長期に渡って雇用される常雇の動向についてみてみましょう。

平成29年の新規就農者は5万5,670人で、そのうち新規自営農業就農者（実家の農業を継いだ者）が4万1,520人と大勢を占めます。しかし近年、新規自営農業就農者は減少傾向にある一方、新規雇用就農者（農業法人等へ就職した者）や新規参入者（農地や資金を独自に調達し新規に農業経営を開始した者）が増加しています。

表 常雇の動き

年次	実人員 (人)	経営体数 (戸)	延べ人日 (人日)
平成17年 (2005)	129,086	28,355	23,348,748
22 (2010)	153,579	40,923	31,388,352
27 (2015)	220,152	54,252	43,215,042

出典：農林水産省「農林業センサス」

勤務していた者は6,920名（65.8%）おり、そのうち4,970名が49歳以下となっています（図1）。また、新卒で雇用される者は1,920名（18.3%）となっており、農業を志す若者にとって、農業法人等での就農が重要な選択肢になってきていることが伺われます。

### 常雇は施設野菜や準単一複合経営で増加

表は、センサス年次毎の全国の常雇の実人員、雇い入れた経営体数、延べ人日です。この10年間に実人員は約170%、雇い入れた経営体数は約190%に拡大しています。図2-1はその実人員を営農類型別にみたものです。すべての営農類型で雇用者数は増加し、なかでも、施設野菜や準単一複合経営では実人員も

図2-1 営農類型別常雇の推移 (全国)

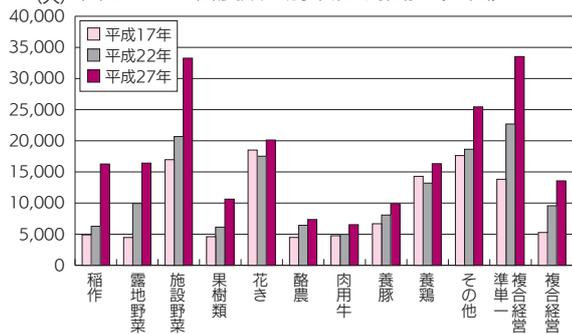
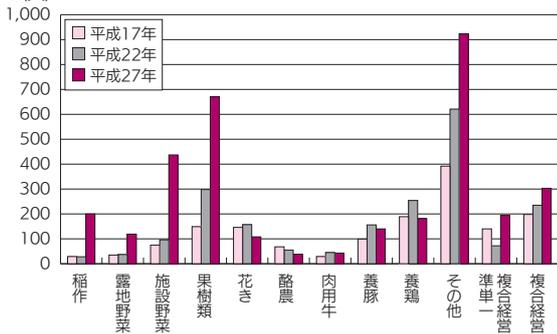


図2-2 営農類型別常雇の推移 (愛媛)



出典：農林水産省「農林業センサス」

3万人を超えています。図2-2は愛媛県の場合で、全国同様雇用者数は増加しており、平成27年には1,549名だった雇用者は27年には3,356人と倍増しています。とりわけ施設野菜や特産の果樹等で大きく伸びていることが特徴的です。

平成29年度食料・農業・農村白書では「次世代を担う若手農業者の姿」とする特集を組み、若手農業者をターゲットに向けた施策の展開方向を考察しています。あわせてご覧いただければ幸いです。

（★検索ワードⅡ「平成29年新規就農者調査」「平成29年度 食料・農業・農村白書」「農の雇用事業」）  
中国四国農政局愛媛支局 統計チーム



# ねっくとわーく

## 「JAグループ農畜産物消費拡大運動展開中！」

活課  
生資材

JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動推進本部は、来年1月末まで、「JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動」に取り組んでいます。

歯と歯ぐきの健康が気になる方に「8020菌」を使用したヨーグルト2種類・19個の乳製品をセットにした「らくれんセレクト」や、「道後赤たまごプリン」や「愛ある生乳ヨーグルト」など、らくれん製品から厳選したバラエティーセットの「牧場の風セット」(2,200円)、クリームチーズサンドとレアチーズケーキをまとめてセットにした「クリームチーズセット」(2,300円)、レアチーズケーキ3種・15個をセットにした「レアチーズケーキセット」(2,200円)、の4アイテムです。

(価格は全て税込価格)

### 県内産を中心とした「畜産加工品」愛用も推進中

JA全農えひめ生活資材課では、来年2月末まで、愛媛県内産牛・豚肉の地産地消を通じて地域農業の振興を図ろうと、「食肉加工品」の取扱い・消費拡大を推進中です。

取扱商品(セット)は、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の精肉セット各3アイテム、レトルトのカレー、愛媛県産豚肉を使用した「豚バラやわらか角煮」、「豚ロース豚井」、「ロースハム・ベーコンスライスパック」、国産豚肉を使用したウインナー、さらには塩、みそ、キムチ味の「豚ホルモンセット」などの多彩なアイテムをご用意しております。この機会にぜひご賞味・ご注文ください。

愛用運動商品と食肉加工品のご注文・お問い合わせは、最寄りのJAまたはJA全農えひめ生活資材課(TEL089-905-2715)までお願いいたします。

## 11月16日から3日間 豊富な品揃えで「JA石碑大展示」予約会開催!

県内JAとJA全農えひめ生活資材課は、JA石碑事業の普及拡大と墓石の円滑な建立を目的に、10月から12月末まで、「秋期石碑予約推進キャンペーン」を実施中です。

特に11月16日から18日までの3日間は、実際に触れて・見比べて納得して選んでもらえるよう、(株)イフィ

本社をはじめ、県内8か所の特設展示場で、JA組合員限定の「JA石碑大展示予約会」を実施します。

各展示場では、良質で厳選された愛媛の銘石「大島石」など各種石碑を豊富に取り揃え、墓石の完成時の形がイメージできるような納骨舞台を含めたセット墓から小物まで大量に展示販売します。

セール期間中は、JA組合員の特別価格で提供するほか、数量限定の現品特別大奉仕品もあります。また、専門スタッフがお墓や仏壇・仏具に関する質問・相談も受け付けます。

展示会ご来場の方にはもれなく粗品をプレゼントす

るほか、100万円以上石碑・仏壇をご成約の方には、空くじなしのプレゼント抽選会を用意し、多数のご来場をお待ちしています。展示会に関するお問い合わせ・来場申込みは、最寄りのJAにご連絡をお願いします。

### 〈会場〉株式会社イフィ

- 本社：松山市石手3丁目6-34 (電話) 089-977-8000  
〈対象JA〉JAえひめ中央・JA松山市
- 四国中央店：愛媛県四国中央市妻鳥町1199-1 (電話) 0896-22-3788  
〈対象JA〉JAうま・JA新居浜市
- 西条店：西条市周布727-1 (電話) 0898-65-6825  
〈対象JA〉JA西条・JA周桑
- 今治営業所：今治市阿方字山之間甲373-1 (電話) 0898-65-6825  
〈対象JA〉JAおちいまばり
- フライブルク店：松山市朝美1丁目6-7 (電話) 089-917-9080  
〈対象JA〉JAえひめ中央・JA松山市
- 大洲店：大洲市新谷乙416-1 (電話) 0893-25-1185  
〈対象JA〉JA愛媛たいき・JAにしうわ・JAひがしうわ
- 八幡浜店：八幡浜市保内町宮内2番耕地82-1 (電話) 0894-36-3353  
〈対象JA〉JAにしうわ
- 宇和島店：宇和島市並松2丁目3-15 (電話) 0895-23-0518  
〈対象JA〉JAえひめ南・JAひがしうわ

# 「ひめライス55周年！」 「GO!GO!新米キャンペーン」実施中!

ひめライス

内産を中心に新米の発売をアピールしようと、8月22日から10月31日まで、新米キャンペーンを実施しています。

キャンペーン名称は、「GO!GO!新米キャンペーン」。「伊予牛「絹の味」ステーキサーロイン」「ふれ愛・媛ポークセット」「紅まどんな」などが計825人に当たります。

期間中は、テレビCM、ポスター、リーフレット・新聞広告などを通じて積極的にキャンペーンPR活動を展開。「愛媛の新米」を味わってもらい、県内産米の消費拡大と「ひめライス」ブランドの強化を図ります。

応募方法など詳細は、販売店のポスター・リーフレット、(株)ひめライスのホームページでご確認ください。

## 【応募方法】

ひめライスの対象商品についている「応募シール」または、米袋左上に付いている「ひめマーク」を切り取り、1kg以上を1枚1口としてご応募ください。応募ハガキまたは郵便ハガキにご希望の賞品コース(A〜Eコース)を1つ選択し、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、購入店、ひめライスに対するご意見・ご感想を明記の上、ご応募できますが、1通につき1口とさせていただきます。

## 【対象商品】

ひめライス全商品(もち米含む)

## 【応募先】

〒791-3163

伊予郡松前町大字徳丸字五屋敷  
771-25  
(株)ひめライス

「新米キャンペーン」係

## 【応募締切】

平成30年10月31日(当日消印有効)

## 【当選発表】

賞品の発送をもって当選発表にさせていただきます。

特選家電・グルメが合計825名様に当たる! 1商品×2口応募可

# ひめライス 55周年 GO!GO!新米キャンペーン

2018年8月22日(水)~10月31日(水)

えひめのみなさまに、感謝の気持ちを込めて各コース55名様にプレゼント!

**A** コース

**ライスクッカーミニ**  
小泉電器炊飯器KSC-1512/W-T 1.5合炊き

忙しい朝食、遅い夕食にも約20分でふっくら炊ける!

**B** コース

**伊予牛「絹の味」**  
ステーキサーロイン2枚(1枚220g)

やわらかく、まろやかで上品な舌ざわり!

**C** コース

**ふれ愛・媛ポーク**  
セットHF1600g(ロース/バラ/ウデ/モモ 各400g)

筋繊維が細かく、肉じまりがよい豚肉!

**D** コース

**紅まどんな**  
秀品約3kg(L~3Lサイズ10~15玉)

トロロっととろけるゼリーのような食感!

**E** コース

**戸島一番ブリしゃぶしゃぶセット**  
6パック(1パック約100g)

天然を超える味とも言われる、最高級養殖ブリをしゃぶしゃぶに!

**W** チャンス

**お米保存容器 約2kg用 + 愛媛県産にごまる2kg**  
をはずれた方の中から抽選でプレゼント!

冷蔵保存で劣化を防ぐ! フタがお米1合分の計量カップ!

主催/株式会社 ひめライス お問い合わせ先 TEL.089-960-3331 受付時間/10:00~17:00(土・日・祝日を除く) お問い合わせ期限/平成30年11月30日まで ひめライス

## 「2018愛媛みかん大使」4人を任命！

～1年間愛媛県産柑橘の魅力をもPRします～



▲2018愛媛みかん大使（右から＝古谷さん、石崎さん、鎌倉さん、小山さん）

J A全農えひめ果実課は、8月23日、松山市のJ A愛媛で、愛媛みかん・伊予柑など愛媛県産柑橘をPRする「2018愛媛みかん大使」4人を任命しました。

60代目となる「2018愛媛みかん大使」は、古谷那留美さん（21歳・松山市在住・大学生）、石崎茜さん（24歳・松山市在住・団体職員）、鎌倉瑛梨さん（24歳・新居浜市在住・会社員）、小山あずささん（24歳・松山市在住・団体職員）。任命式では、J A全農えひめ運営委員会の菅野幸雄会長が、「愛媛県の代表として、元気に全国へ愛媛みかんをPRしてほしい」と激励し、大使一人一人に任命状と賞金目録を手渡しました。

前年の大使からタスキを受け継いだ4人は、「先日の豪雨により、県内では甚大な被害があった。全国の愛媛みかんファンに『愛媛は元気でやっているよ』という想いと共に、愛媛みかんのPRをしていきたい」となどと笑顔で今後の抱負を話しました。

今年も、6月8日から7月9日まで愛媛県内在住の18歳以上の方を対象に募集を行い、期間中78人の応募がありました。書類審査を通過した19人が面接審査（8月3日開催）に臨み、J A全農えひめ、愛媛県果樹同協会会長、マスメディア関係者など審査員11人が、「印象（好感度）」「知性」「容姿（姿勢等）」などを総合的に審査して、4人を決定しました。

4人は、10月17日開催される「愛媛県園芸大会」で県内の生産者・J A関係者にお披露目。11月上旬の「愛媛みかん消費拡大キャンペーン」

# 2018愛媛みかん大使4人のプロフィール



ふるやなるみ  
**古谷那瑠美さん**

(松山市在住・大学生)

【抱負】 幼少期の頃から憧れていた愛媛みかん大使に任命していただき大変光栄です。消費者の方々と農家の皆さんの架け橋として、生の声と熱い想いをお伝えしていきます。一人でも多くの方に愛媛みかんを手にとっていただき、愛していただけるように一年間笑顔でPRしてまいります。

【趣味】 読書・料理  
【特技】 歌を歌うこと



いしざき  
**石崎 茜さん**

(松山市在住・団体職員)

【抱負】 平成30年7月豪雨による被害を心配して下さっている全国の愛媛みかんファンの方々に、「愛媛は元気に頑張るけんね!」という想いと一緒に、農家の皆さんが丹精込めて作られたみかんをお届けするため、笑顔で一年間頑張ります。よろしくお願ひいたします。

【趣味】 料理・たくさん食べる  
こと  
【特技】 水泳



かまくら  
**鎌倉 瑛梨さん**

(新居浜市在住・会社員)

【抱負】 今年60代目となる歴史ある愛媛みかん大使に任命していただき、大変光栄です。豪雨災害の復興の一步として、愛媛みかん大使という立場から被災地に元気を、全国に愛媛みかんの魅力を、しっかりお伝えしていきます。1年間よろしくお願ひいたします。

【趣味】 写真・旅行・美味しいものめぐり  
【特技】 ピアノ・歌



こやま  
**小山あずささん**

(松山市在住・団体職員)

【抱負】 今年で60代目となる節目の年に愛媛みかん大使に任命していただき、大変うれしく思うとともに大きな使命感を感じております。今年は甚大な自然災害もありましたが、しっかりと前を向いて、笑顔とともに美味しい愛媛みかんを全国に届けてまいります。

【趣味】 音楽鑑賞・カメラを持って出かけること  
【特技】 書道



▲JA全農えひめの菅野幸雄会長(中央右)と小越慎介県本部長(中央左)を囲んで

ン」(東京・大阪)のほか、年明けの1月からは「愛媛いよかん大使」として「愛媛いよかん全国縦断キャンペーン」(京阪神・首都圏・札幌)、4月14日のオレンジデーに向けた「オレンジロード」関連イベントなど、来年8月末まで各種イベントや販促・試食宣伝活動、マスメディアへの出演等を通じて愛媛県産柑橘をPRしていきます。応援をよろしくお願ひいたします。





## 加工食品の可能性

農林水産省による※農業就業人口は、平成27年が209万人、平成28年は192万人、平成29年181万人と減少。平成30年は175万人と更に減少が予測されている。平成29年の平均年齢は66歳、こちらはあがっている。同年の新規就農者は55万人、この数字は数年間横ばい状態だ。

愛媛県の農業就業人口は平成27年4・1万人。全国値を参考に計算すると(年平均6%減)、10年後の2028年には約1・8万人となる。

人口減少の中で、農業にどんな可能性を見出せるか? 【愛顔の食卓】で多く扱っている「柑橘類商品」について、私の妄想を7つ書いてみる。

### 1. 加工食品専用の柑橘栽培

生食用の柑橘以外に「加工品専用」の柑橘栽培なら、価格に反映される手間などの労力も軽減され、消費者も買

いやすくなるかもしれない。

### 2. 産地名で売る

【愛顔の食卓】で扱う柑橘ジュースの多くは生産者の名前で販売しているが、今後競争力が必要となると限界があると思っている。そこで「産地」のブランド化はどうだろうか? 参考にしてきるのはフランスのワインだ。ボルドー、ブルゴーニュ、ロワールなどは産地名であって商品名ではない。生産者という「点」ではなく、産地という「面」でブランド力をつけるのは競争力強化につながると思う。

### 3. ブランドの当事者になる

産地にブランド力がつくと商品にもブランド力がつく。商品から柑橘産地をイメージしやすい他、種類や品質などで差別化もできる。ワインも安価な品から高価な品まであるのと同じだ。

# 泉谷 昇

NOBORU IZUMITANI

#### ■プロフィール■

NPO法人いよココロザン大学 理事長・学長。  
1971年東京都出身。高校卒業後渡米。映画製作などを学び帰国。  
コンサルティング業務を経て、2002年～2008年愛媛県観光課勤務。  
えひめフィルム・コミッション担当。2008年～2011年松山市観光産業振興課勤務。観光企画、フィルム・コミッション担当。  
「世界の中心で、愛をさけぶ」「HERO」「がんばっていきまっしょい (TV版)」「書道ガールズ」「坂の上の雲」「真夏の方程式」など500本以上の映画、映像作品の撮影支援に携わる。  
2011年「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」を掲げ、『いよココロザン大学』設立。松山市花園町には県内の生産者などがつくった品が並ぶセレクトショップ【愛顔の食卓】がある。



▲【愛顔の食卓】が面する松山市花園町通りをバックに。花園町通りでは月に1度、県内のこだわり農産物や商品も集まる「お城下マルシェ」が開かれ、10月は21日(日)開催

ウォンツに答えよう。

#### 6. 訴求力を高める

柑橘ジュースのパッケージデザインは似ていて差別化が難しい。しかし、中身を真空容器に充填した「ボックス型、紙製ボトルなど」なら全面にデザインを施すこともでき、遮光性も高く中身は鮮度を保つことができる。新たな訴求力が得られるだろう。

#### 7. 加工技術を積極的に生かす

加工食品の特徴の一つに「長期保存」がある。その特徴を生かし「保存食」などに転用も可能と思っている。加工技術は日進月歩、今はできなくても数年後には実現すると思うと「保存食、介護食、宇宙食」と、求められるシーンは広がる。

そんな突飛な話ばかり…、と思われるかもしれないが、従来の発想を超える新しい発想が必要だ。【愛顔の食卓】は加工食品を持つ可能性を常に模索している。ご興味ある内容があったのなら「加工食品の可能性」について、ぜひとも語り合いたい。

※農業就業人口…15歳以上の農家世帯員のうち、調査期日前1年間に農業のみに従事した者又は農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い者。

いよココロザシ大学が「みかんソムリエ」という商標を取得しているのは、愛媛のみかんブランドがこの先もずっと続くことを見越しているからだ。

#### 4. 小規模充填工場を街中に

「充填」は柑橘ジュースをつくる生産者と話題になる一つで、柔軟性・弾力性が乏しいと聞く。街中に少量・100kgから柑橘を持ち込め、好みの容器でジュースにできる小規模工場が欲しい。生産者は他の用事のないに

持ち込め、消費者は充填の様子など見学可能、搾りたて生ジュース販売と、新しいビジネスモデルが構築できる。

#### 5. 市場に答を見出す

好みの容器で飲料にできるなら、今度は「飲みきりサイズ」の充実だ。特に旅行者にとってガラス製の大瓶は、重く、割れることが心配で諦める人も多い。そんな時は飲みきりサイズの小瓶などを紹介するが、選択肢は少ない。単価は高くなるが消費者のニーズ・

# 協同の力で乗り越えよう 平成30年7月豪雨

がんばろう愛媛!

## 復旧・復興に向けた支援を要請!

### ■ J Aグループ愛媛大雨被害対策本部

J Aグループ愛媛大雨被害対策本部と愛媛県農業会議などは8月9日、愛媛県庁で「平成30年7月豪雨被害に関する要請書」を中村時広知事に提出しました。

対策本部の田坂實本部長（J A愛媛中央会）や同会議の清家俊蔵会長、J Aや連合会の代表者など9人が訪問しました。

農業経営の早期再生と愛媛農業・農村・J Aグループ愛媛の復旧・復興に向け、7項目を要請。田坂本部長は「生産者の営農意欲がそがれないように支援を進めていきたい。引き続き国や県に復旧・復興の継続的な支援をお願いしたい」とあいさつしました。

#### 支援要望

- ① 中小企業等共同施設等災害復旧事業
- ② 農業基盤の早期復旧
- ③ 農業者の負担軽減等
- ④ 共同利用・営農関連施設の早期復旧対策
- ⑤ 被害農作物に対する防除・営農技術対策
- ⑥ 農業用資材の廃棄・処分対策
- ⑦ 肱川流域の被害防止対策

要請を受けた中村知事は「農業県の威信に懸けて、きめ細かい対応とスピード感を持って進めていきたい」と話しました。

### ■ 愛媛県果樹同志会

愛媛県果樹同志会は、8月29日、愛媛県庁で「西日本豪雨災害の復旧・復興に関わる要望書」を中村時広知事に提出しました。

能田英文会長を含めた同志会役員4人とJ A全農えひめ関岡光昭副本部長が参加。愛媛県内の果樹産業は、園地への被害だけでなく、農道等へのインフラ全般にわたって甚大な被害がでています。愛媛県に早期復旧・復興のための支援を強く要望しました。



中村知事（中央）と（左から）長岡副会長、能田会長、武内副会長、菊池副会長

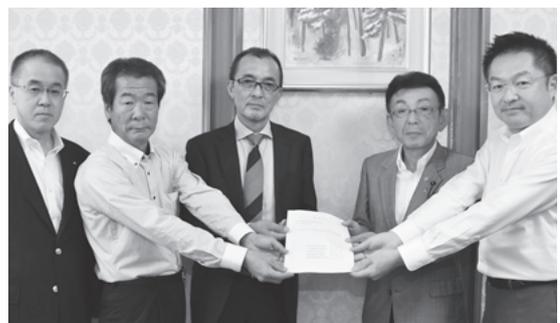
- ① 一日も早い農道（県道・市町道・園内道等）の復旧・整備のための支援
- ② 農家の希望に合わせた復旧に係る基盤整備等に必要な支援
- ③ 共同・個人のスプリンクラー・モノレール、農業用ハウス等諸設備の復旧のための支援
- ④ 被災農家の心のケア、サポート（カウンセラーの派遣等）に必要な支援

### ■ 愛媛県畜産振興連絡協議会・J A愛媛養豚経営者協議会・愛媛県肉牛生産者協議会・愛媛県酪農経営者協議会・愛媛県採卵養鶏経営者協議会

愛媛県内の畜産農家で構成する4つの協議会は、9月11日、愛媛県庁で「平成30年7月豪雨被害に関する要望書」を愛媛県議会議員、自民党愛媛県連畜産振興議員連盟の渡部浩会長と愛媛県農林水産部の佐伯拓三畜産課長に提出しました。

愛媛県畜産振興連絡協議会の本宮環会長（県肉牛生産者協議会会長）、J A愛媛養豚経営者協議会の酒井栄一会長、J A全農えひめの関係者が参加。7月の豪雨によりJ A全農えひめグループ会社で県内唯一の食肉処理施設、J Aえひめアイパックス(株)が被災し稼働を停止（9月17日より、試験と畜を開始）。県外代替と場への出荷を行う中、輸送経費の増高や、品質低下による損失など農業者への負担軽

減への支援などを強く訴えました。



（右から）自由民主党愛媛県支部連合会三宅浩正政調会長、渡部会長、本宮会長、酒井会長、J A全農えひめ竹村靖副本部長

- ① 食肉処理施設の早期復旧への支援
- ② 農業者の負担軽減
- ③ 生産基盤の早期復興
- ④ 防災対策の拡充

## ■JAグループ愛媛

# 「JAグループ愛媛支援隊」被災地へ派遣

JAグループ愛媛は、7月に発生した豪雨災害を受け、7月11日から愛媛県内のJAグループ役職員を中心に「JAグループ愛媛支援隊」を被災地に派遣しました。

災害直後の第一次派遣では、JA施設等の復旧活動を中心としていましたが、8月18日からの第二次派遣では、全国のJAグループの役職員も参加し、被災地の農作業支援にシフトしています。支援活動は12月上旬まで続きます。

JA全農えひめグループからも、9月末までに延べ200人以上の役職員が参加しました。被災地の一

日も早い復旧・復興をめざし、継続的な支援を続けていきます。



被災地での復旧支援の様子

## ■ファーマーズマーケット「いよっくら」

# 農作物の売上を義援金に！チャリティバザーを実施

愛媛県伊予市のJAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっくら」は、8月18日と19日の2日間、店頭にて特設コーナーを設け、「平成30年7月豪雨災害チャリティバザー」を開きました。

出荷者で構成する「いよっくら」運営協力会（会員数約600人）が持ち寄った新鮮な青果物や加工品を販売しました。

2日間で売り上げた約10万円全額を豪雨で被災された方々への義援金として日本赤十字社愛媛県支部へ寄付しました。

同店の早田憲正店長は、「賛同していただいた会員の皆さんや、ご利用いただいた大勢のお客様に感謝の気持ちでいっぱい。今後も定期的にも実施し、少しでも被災された方々への助けになりたい」としています。



チャリティバザーの様子



「いよっくら」運営協力会の栗原和裕会長（左）から義援金を受け取る日本赤十字社愛媛県支部の藤井晃一事務局長（右）

## ■伊予牛「絹の味」・「ふれ愛・媛ポーク」

# 「がんばろう愛媛！」特別CMを放送

JA全農えひめ畜産部は、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の「がんばろう愛媛篇」CMを10月から愛媛県内で放送します。

7月の豪雨により、県内唯一の食肉処理施設でJA全農えひめグループ会社であるJAえひめアイパックス(株)が被災。工場の稼働を停止したことにより、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」は県外代替場への出荷を行っているほか、一部の畜産農家では農場などへの浸水や土砂崩れなどがありました。

こうしたことを受け、畜産部では、消費者にも生産者にも元気になってもらい、チーム愛媛で復旧・復興に取り組んでいきたいという気持ちを込め、既

存のCMに「がんばろう愛媛」とテロップを挿入、新バージョンとして制作しました。



## ●第19回 J A 愛媛米麦生産者組織協議会通常総会 需要に応じた生産と品質向上を！

J A 愛媛米麦生産者組織協議会は、7月17日、松山市の J A 愛媛で、「第19回 J A 愛媛米麦生産者組織協議会通常総会」を開きました。

総会には、会員20名の他、県や J A 等関係者41名が出席し、平成29年度事業報告、30年度事業計画・予算計画等を審議し、承認されました。

水稻においては、愛媛県米麦振興協会などの関係機関と連携し、「売れる米づくり」に向けた取り組みをすすめるとともに、以前、食味ランキングで「特A」評価を得た「ヒノヒカリ」「にこまる」につい

ては、「特A」評価の再取得を目指します。さらに、全国的に不足している中食・外食用の業務用米については、多収性・良食味が確認された「あきだわら」を本格的に普及、拡大していきます。

31年連続生産量日本一を誇るはだか麦については、さらなる面積拡大と単収360kg/10aを目標に収量アップを行い、安定的な供給体制を確立していきます。また「ハルヒメボシ」については、順次種子を確保しながら切り替えを進めていくことなどを確認しました。

## ●愛媛県民間流通地方連絡協議会

### 31年連続日本一のはだか麦の安定供給を！

J A 全農えひめ食糧生産課は、7月17日松山市の J A 愛媛で愛媛県産麦の円滑な流通をめざし、愛媛県民間流通地方連絡協議会を開きました。

会議には、精麦や製粉、醤油・味噌関連の実需者14社・組合と生産者・J A・県関係者ら51人が出席。30年産麦の販売見込数量や31年産麦の販売予定数量を確認するとともに、愛媛県産麦に対する意見交換を行いました。

愛媛県産はだか麦は、31年連続生産量日本一（29年産麦）となりましたが、31年産においては生産者の販売予定数量4,232トンに対し、実需者からの購入数量は6,454トンも上っており、2,222トンもの逆ミスマッチが発生しています。そのため、実需者からは需要に応じた数量確保と安定供給を求める声が多く出されました。

こうした中、J A 全農えひめ・愛媛県米麦振興協会では、これらの実需者ニーズに対応していくため

に更なる面積の拡大と単収360kg/10aを目標に収量アップを目指すとともに、有望品種の「ハルヒメボシ」への品種転換を計画的に進めることにしています。

また、愛媛県農林水産研究所からは、愛媛県産麦の課題および今後の対応策等について説明があり、生産者、J A、関係機関が連携して取り組んでいくことを確認しました。



## ●「愛媛さといも広域選果場」新築工事 安全祈願祭 さといも「伊予美人」各JA枠を超えた広域選果場を建設

JA全農えひめは、9月10日、四国中央市土居町蕪崎のJAうまアグリセンター東側で『愛媛さといも広域選果場』新築工事安全祈願祭』を執り行いました。平成31年3月からの選果開始を予定しています。

同選果場は愛媛県の特産物であるさといも「伊予美人」の主力産地である東予地区のJA枠を超えた広域選果場として、品質の均一化を図りながら、契約的取引の拡大や流通コストの削減など愛媛チームとして生産者の所得向上を目指します。施設面積は1,907平方メートル、日量35トン进行处理の見込みです。

JA全農えひめやJAの代表者など関係者約30人が参加。建設工事の安全を祈願しました。JA全

農えひめ運営委員会の菅野幸雄会長は「さといも『伊予美人』の特性である、いもの白さや柔らかさと品質評価の安定を消費者にアピールし、生産者の所得向上に寄与していきたい」とあいさつしました。



納入れをする菅野会長（左）と広域選果運営委員会篠原一志委員長（JAうま代表理事組合長）

## ●JA農業サポート実践会議

### 信用・営農部門が連携し農業者の所得増大を支援！

JA全農えひめなどで構成するJAグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会は、7月30日、松山市のJA愛媛で「JA農業サポート実践会議」を開きました。

会議には、JAの担い手対応を行うTAC・営農・信用部門の担当者など約50人が出席。事業間連携による農業経営支援機能を発揮し、農業者の所得増大につながる重要性を確認しました。

グループワークでは、参加者が5班（米麦野菜部門3班・果樹部門2班）に分かれ、担い手のニーズに応じた作物提案や融資など資金支援の検討について話し合い、5年先・10年先を見据えた提案内容シートと経営改善計画表を作成し、グループごとに発表しました。

また、JA全農本所と農林中央金庫は全国の情勢、JA愛媛中央会は「JAグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会」の今後の取り組みについてなどを報告しました。

参加者からは、JAの役割として営農指導のみならず経営へのアドバイスが強く求められると感じており、グループワークを通じて営農・金融部門の連携の大切さや、他のJAの自JAにはない視点やアドバイスが参考になり勉強になったとの意見が多数ありました。



## FM愛媛でラジオコーナー「JA全農えひめ presents Support Music」スタート！

JA全農えひめ協賛のラジオコーナー「JA全農えひめpresents Support Music」が、10月1日からFM愛媛でスタートします！

JA全農えひめの、愛媛農業や食、地域の皆さんの暮らしを支えていきたいという気持ちとリンクし、日々の暮らしの中で支えられた1曲とその曲にまつわるエピソードをリスナーの皆さんから募集し紹介します。リクエストが採用された方の中から抽選で毎月、愛媛の美味しい農畜産物をプレゼント。

たくさんのメッセージをお待ちしております。

- 【放送局】FM愛媛
- 【タイトル】JA全農えひめ presents Support Music
- 【放送日】毎週月曜日「LINK」内14時12分頃～（5分間）
- 【リクエスト応募先】✉ link@joefm.com



FM愛媛「LINK」パーソナリティのヒカルさん

## ●「いよっこら」親子農業体験ツアー 親子で大根や梨の収穫体験を満喫

J A えひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっこら」運営協力会は、食農教育活動の一環として、8月25日、西予市野村町大野ケ原と伊予市中山町を回る「親子農業体験ツアー」を実施しました。

このツアーは、収穫体験等を通じて農業や食の大切さ、地元農産物の美味しさや魅力を伝えようと毎年開催しており、今年で10年目。

今回のツアーには、伊予市近郊の親子14組36人が参加。標高1,000mを超える四国カルスト・西予市野村町大野ケ原の黒河高茂さんの畑で、大根を収穫しました。黒河さんから栽培の状況や「大根が折れないようにまっすぐ上の方へ抜いて」というアドバイスを受け、子どもたちは力を込めて大根を引き抜きました。

伊予市から参加した阿部壮真さん(郡中小一年)は、「大きい大根がたくさん採れた。家で食べるのが楽しみ」と笑顔を見せていました。一行は、伊予市中山町でも梨狩りを楽しみました。



大根の収穫を楽しむ子どもたち

## ●J A えひめフレッシュフーズ(株) バドミントンの若手選手育成に貢献～ジュニア県予選会に冠協賛

「第3回フレッシュ卵卵カップ 第37回全日本ジュニアバドミントン選手権大会愛媛県予選」が、7月31日、松山市で開かれました。J A えひめフレッシュフーズ(株)は、2016年からジュニア選手を育成する同大会に特別協賛。計192人の選手が熱戦を繰り広げました。

大会前日の30日には、今大会初となるバドミントン教室を開催。アジア大会シングルス優勝と2度の五輪出場を果たした元バドミントン選手の米倉加奈子さんを講師として迎えました。

ジュニアの部シングルスでは、男子が鎌田雄太さん(新田高)、女子は西岡奈都さん(新田高)が優勝。

同社は、参加賞のほか各クラス優勝者全員に「紅花卵卵」など卵30個と愛媛県産にこまる2kg、たまごかけごはん専用醤油が入った「こだわり卵食べ比べセット」を贈りました。また、会場内では(株)えひめ飲料が熱中症対策として出場選手に「POM塩と夏みかん」を提供しました。

その他の各クラス優勝者は次の通り。

【ジュニアの部ダブルス】男子=甲斐聡一郎・神山新悟(新田高)、女子=星加実玖・近藤菜(新居浜東高)

【ジュニア新人の部】男子単=二神侑雅(久谷中)、女子単=伊藤るな(西条西中)



ジュニアの部シングルス優勝の西岡さん(右)と鎌田さん

## ●リジェール松山焼肉の日イベント

# 8月29日＝「焼肉の日」に焼肉40kgを振る舞いPR

J A全農えひめ畜産部は、8月29日の「焼肉の日」にあわせて、松山市のリジェール松山屋上ビアガーデン特設コーナーで、愛媛県産ブランド肉の伊予牛「絹の味」黒毛和牛、「ふれ愛・媛ポーク」の焼肉計40kgを無料で配布するイベントを行いました。

同イベントは、「焼肉の日」を通じて愛媛県産ブランド肉の美味しさをPRし消費拡大につなげようと毎年実施しています。

配布と同時に長い列ができ、来場者からは「柔らかくて美味しい」「焼肉の日を初めて知った」と大変好評でした。

畜産部担当者は、「こうした肉の日イベントを通じて、愛媛の誇るブランド肉の美味しさを一人でも多くの方に知ってもらい消費拡大につなげたい」としています。

また、会場には、ブランド誕生から20周年を迎える「ふれ愛・媛ポーク」の「20周年特別ポスター」を掲示。今後、20周年を記念したキャンペーンなどを予定しており、さらなる消費拡大に向けPRしていきます。キャンペーン情報は決まり次第、J A全農えひめのホームページなどでもお知らせしていきます。



イベントの様子

## ●(株)えひめ飲料が松山東交通安全協会に贈呈

# 交通安全運動に「POM塩と夏みかん」を役立てて！

(株)えひめ飲料は、秋の全国交通安全運動（9月21日から9月30日まで）の啓発活動に役立ててもらおうと、8月31日、「POM塩と夏みかん」（200ml紙パック）1,000パックを松山東交通安全協会に贈りました。

贈呈商品は、交通安全運動期間中に、松山東警察署管内で実施される「交通茶屋」や「高齢者教室」などの各種イベントで、交通事故防止のチラシや反射板とともに配布されます。

松山市安城寺町の(株)えひめ飲料本社で行われた贈呈式では、同社の高原茂社長が、「今年は特に厳しい残暑が予想されます。期間中の熱中症対策に役立

ててください」と同協会の清水一郎会長に商品と目録を手渡しました。清水会長は、「交通安全運動で活用させていただきます」とお礼を述べました。

同社によるPOM製品の贈呈は、社会貢献活動の一環として2010年から毎年実施しています。



清水会長（右）に商品を贈呈する高原社長

## ●(株)えひめ飲料が済美高校野球部に贈呈

# がんばれ球児！ポンジュースを差し入れ激励

(株)えひめ飲料は、8月5日に開幕した第100回全国高等学校野球選手権大会に愛媛県代表として出場した済美高校野球部に、ジュース10ケースを贈りました。

同社大阪営業所の門間伸一所長が8月3日、神戸市の同校宿舎を訪ね、同校野球部の田坂僚馬部長にジュースを手渡し、「まずは初戦突破を。健闘を祈っています」と激励。田坂部長は「ありがとうございます。頑張ります」と応えました。

贈呈したのは、同社の「ポンジュース」（350ml 24本入）と「POM塩と夏みかん」（490ml 24本入）各5ケース。同社は、毎年、春の選抜高校野球大会と夏の甲子園出場校にジュースを贈り、地元代表の球児を応援しています。

夏の甲子園大会に2年連続6回目の出場となった済美高校は、愛媛県勢14年ぶりとなる4強入りを果たしました。

農の風景「親子料理体験ツアー」。料理教室楽しそうでいいなあ。息子はまだ2歳。一緒に参加できる頃にもイベントがいろいろあると良いですね。  
(松山市・川上 未侑さん)

地産地消の推進と食農教育の一環として開催された親子料理教室の記事を読んで。親子で料理をつくる喜びが伝わってきました。JA愛媛たいきの愛たい菜では、地産地消の推進を図るため、給食部会がじゃがいも、玉ねぎなど主要7品目の食材を提供しています。  
(大洲市・大本 昭裕さん)

特集を読んで。円滑な農産業をすすめるためには人手は多くあった方が良い。特集記事にあった「農福連携」は、まさに労働力不足解消の光だと思えます。確かに、できる範囲は狭いかもしれないけど、事例を拝見すると、マッチングを適正に行えばもっと輪が広がっていくと思いました。ぜひマッチングと受け入れ農家の理解を深めて、

この活動を広げていってほしいと考えます。また現状を今後も報告してほしいと思います  
(西条市・玉井 陽子さん)

8-9月号の表紙が目にとまりました。何十年も前、子ども時代を思い出し、懐かしく思いました。五人姉妹の長女でしたが、母が夏になると子どもたちに浴衣を着せ、夏のひとときを楽しみました。今でも姉妹仲良く過ごしています。子ども時代の写真を見ては大笑いしています。  
(新居浜市・高橋 八重子さん)

統計ボックスを読んで。「農業女子」！良い響きですね。若い女性向けに可愛い作業服などがあると良いですね。まずは形から！っていうのもあり。  
(西予市・安岡 光代さん)

7月の豪雨では、愛媛県内も甚大な被害がありました。帰省した際に見ていた宇和島市のみかん畑も土砂崩れが多く発生しています。あのみかん畑が復興し、見慣れた景色が戻ることを願っています。  
(松前町・田中 克也さん)

## お知らせ

## 読者名簿更新について

JA全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内JAの役員（非常勤理事・監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

現在、読者名簿の更新を随時行っています。この度の名簿更新により、お届けできなくなることもあります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 編集後記

豪雨、台風、地震そして記録的な猛暑と自然の恐ろしさを目の当たりにした平成最後の夏でした。被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

7月の豪雨では、愛媛県内も、甚大な被害がありました。このような中、本誌でもご紹介した「60代目」という記念すべき節目の年に就任した4人の愛媛みかん大使の皆さん。ぜひその素敵な笑顔と愛媛みかんとともに愛媛のすばらしさを全国に届けていってほしいと思います。

(有紗)

## 今月のクイズ

備ひめライス、今年も新米キャンペーンを実施中です。今年のキャンペーン名称は？

「〇〇！〇〇！新米キャンペーン」

### プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



### 応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

### 締切り

平成30年11月15日（当日消印有効）

### 発表

「あぐり〜ど」12月号で発表します。

### 当選者発表

8-9月号の答えは「農福（連携）」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。  
宝利 礼子さん（四国中央市）  
加藤真以子さん（新居浜市）  
今井シゲミさん（西条市）  
戸田佐和美さん（西条市）  
越智 圭太さん（今治市）  
楠 裕子さん（松山市）  
大森 優華さん（松山市）  
高瀬千代美さん（松山市）  
高岡 朋代さん（東温市）  
矢野 吉信さん（大洲市）

今月の素材

# 豚ロース肉

(ふれ愛・媛ポーク)



きめが細かく、赤身と脂肪のバランス絶妙  
肉本来の旨みを味わう、ロース肉



▶(右) 豚肉巻き巻きチャーシュー(後 豚肉となめこのおろし和え)  
▶(左) 豚肉とさつまいものバターしょうゆ炒め

指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

### 豚肉巻き巻きチャーシュー

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約431kcal

豚ロース肉 (生姜焼き用)	500 g
酒	大さじ3
濃口しょうゆ	大さじ4
はちみつ	大さじ2
生姜 (すりおろし)	小さじ1
薄力粉	適量
ペビーリーフ	1パック

〈作り方〉

- 豚ロース肉は包丁で叩き、少し伸ばし、ビニール袋に入れ、④を入れてもみ込む。
- ラップを2枚広げ、それぞれに①を伸ばして並べ、余分な汁気をペーパーでふき取る。
- 薄力粉を②の豚肉の全面にふり、きつめに巻き付ける (2本)。
- はがれないようにラップで包み、電子レンジ600wで約5分加熱して取り出し、上下を入れ替えて約3分加熱する。
- しばらく置いて、冷ましてから、食べやすい大きさに切る。
- 器に盛り付け、ペビーリーフを添える。

### 豚肉とさつまいものバターしょうゆ炒め

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約292kcal

豚ロース肉 (トンカツ用)	2枚
サツマイモ	小1本(約200g)
しめじ	1パック(約100g)
小松菜	1束(約200g)
ニンニク (スライス)	1かけ
サラダ油	適量
塩・コショウ	少々
バター	20g
しょうゆ	大さじ1
黒コショウ (粗挽き)	少々

〈作り方〉

- 豚肉は1cm幅に切る。
- さつまいもは5cm長さの斜め切りにし、1cm幅に切り、電子レンジ600wで3分加熱。
- しめじは石づきを取り、ほぐし、小松菜は4cm長さに切る。
- フライパンにサラダ油を入れ、ニンニクを弱火で炒め、香りが出たら①を炒める。
- 更に③を入れて炒め、②を加え、塩・コショウをふり、④を加えてからめる。
- 器に盛り付け、黒コショウをふる。

### 豚肉となめこのおろし和え

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約150kcal

豚ロース肉 (薄切り)	160 g
ナメコ	1パック(約100g)
ホウレン草	1束(約200g)
ニンジン	1/4(約30g)
大根	1/2本
ポン酢	50cc
刻み海苔	適量
七味唐辛子	適宜

〈作り方〉

- 豚肉、ナメコ、ホウレン草はそれぞれ茹でて、冷水に取る。ホウレン草は3cmに切る。
- ニンジンは千切りにして、茹で、冷水に取る。
- 大根はすりおろし、余分な水分を軽く切る。
- ボウルに水気を切った①、②を入れてさっくり混ぜ、ポン酢を入れて和え、最後に③を混ぜる。
- 器に盛り付け、刻み海苔を飾り、お好みで七味唐辛子をふる。

愛媛のみかん、おいしいけん

愛媛県イメージアップキャラクター「みきやん」が入ったデザイン!

素材本来の味が楽しめる!  
ストレート果汁100%



株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp  
(通販専用) http://www.pom-j.com

JA組合員の皆さまへ

# JA石碑・お仏壇 大展示 ご予約会

セール期間中、JA組合員様には特別価格でご提供します。

**11/16(金)・17(土)・18(日)** 3日間限りの特別ご招待会  
【10:00～17:00】

**ご来場プレゼント**

薬用入浴剤  
ヤング  
ビナスV

※数に限りがございます。先着くなり  
次第終了させていただきます。

**ご成約プレゼント**

●電気ケトル ●マッサージクッション  
●A-COOP詰め合わせセット ●ハンドブレンダー

墓石、仏壇を30万円以上ご成約の方に  
抽選で下記の商品をプレゼント!  
4点のうちいずれかが当たります!

空くじ  
ばし

**現品  
展示品コーナー  
50%～30%  
値引き!!**

墓石・仏壇が  
同時に欲しいという方は!!

**墓石+仏壇  
が  
セットでお得!!**

価格は当日発表!

◆黒檀 一本立 16号 石仏真付 ●高120×幅54×奥45

**新作お仏壇も  
多数ご用意!!**

「伝統型」から  
「家具調タイプ」まで  
新作お仏壇が勢揃い!!

※掲載の墓石・仏壇・プレゼントの写像是  
すべてイメージです。

**期間限定  
特別価格**

- ◆黒檀調 上置 16号 石仏真付 ●高48×幅38×奥36
- ◆黒檀調 台付 45号 石仏真付 ●高138×幅58×奥39
- ◆タモ モダン 16号 石仏真付 ●高128×幅48×奥46

今回の会場はより身近になりました。お気軽にお越しください!!

**会場**

## 株式会社 イフイ

【石手寺前本社】 松山市石手3丁目6-34 TEL.089-977-8000





TEL.0120-80-6768

愛媛県下イフイ全店で対応させていただきます。  
ご都合のよいお店へお越しください。

石手寺前本社 TEL.0120-80-6768

フライブルク店 TEL.089-917-9080

大洲店 TEL.0120-85-6768

八幡浜店 TEL.0120-18-6768

宇和島店 TEL.0120-20-6768

四国中央店 TEL.0120-58-6768

西条店 TEL.0120-40-6768

今治店 TEL.0120-60-6768

JA/JA全農えひめ 協賛/JA全農えひめ指定店 **株式会社 イフイ**



環境に配慮した植物油インキを使用しています。



この冊子は再生紙を使用しています。



あぐり〜どはWEBでも読めます  
<http://www.eh.zennoh.or.jp>